

国際赤十字・赤新月社連盟事務総長 エルハジ・アマドゥ・シィ氏 特別講演会

「苦しんでいる人を救いたい」という思いが
国境を越えるとき

人道の危機に対する国際赤十字の取り組みとそこから見えてきた課題



日時：2017年10月2日（月）17：15～18：45（開場：16：45）

会場：明治学院大学 白金キャンパス 3号館3101教室

- ◇ 参加無料。申込不要。当日、会場までお越しください。
- ◇ IFRCの会長である近衛忠輝日本赤十字社社長から、国際赤十字の活動内容やシィ事務総長についてご紹介いただきます。
- ◇ 満席の場合は、入場をお断りすることがあります。
- ◇ 講演は英語でおこなわれますが、逐次日本語通訳がつきます。

●主催：明治学院大学 ●特別協力：日本赤十字社

問い合わせ先：明治学院大学総合企画室社会連携課 E-mail：chiiki@mguad.meijigakuin.ac.jp
Tel：03-5421-5247（受付時間 平日のみ9:30～12:00 / 12:45～16:00）

明治学院大学は、“Do for Others(他者への貢献)”を教育理念に掲げています。

そして、この理念を共有する人道機関である日本赤十字社とボランティアパートナーシップを結んでいます。

紛争、難民問題、自然災害、新興感染症、貧富の格差など、国境を越えて国際社会が取り組むべき人道支援活動において、国際赤十字は重要な役割を果たしています。

そこで本学では、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)事務総長のエルハジ・アマドゥ・シィ氏を講師にお招きし、特別講演会を開催いたします。

IFRC 会長である近衛忠輝日本赤十字社社長からは、国際赤十字の活動内容やシィ事務総長についてご紹介いただきます。

流動化し混迷を深めてゆく世界や社会における国際赤十字の役割と課題とは何か。シィ事務総長はそこにどのように関わってきたのか。そして今、何を思うのか。

国際的な人道問題を「他人ごと」ではなく「自分ごと」として捉え行動に移していくための気づきやきっかけを得るための機会とします。

講演者プロフィール

エルハジ・アマドゥ・シィ (Elhadji Amadou Sy)
国際赤十字・赤新月社連盟事務総長

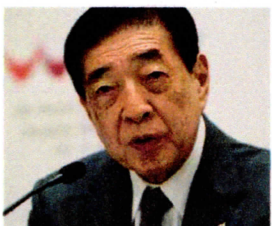
アフリカのセネガル出身。母国セネガルにおいて長く NGO 活動に従事したのち、国連開発計画 (UNDP) HIV/エイズ局、国連合同エイズ計画 (UNAIDS)、世界エイズ・結核・マラリア対策基金、国連児童基金 (UNICEF) の要職を歴任。2014 年 8 月より現職。事務総長は連盟事務局の最高責任者であり、会長不在の場合には他の機関に対し連盟を代表する重職である。



近衛 忠輝 (このえ ただてる)

日本赤十字社社長/国際赤十字・赤新月社連盟会長

1964 年に日本赤十字社入社、2005 年より社長。救護、血液事業、看護師養成、人道支援活動など赤十字事業に幅広く関わる。2009 年より世界 190 か国の赤十字・赤新月社から構成される国際赤十字・赤新月社連盟の会長。世界各国の紛争地域や災害被災地を訪れ、「人道の空白地帯を作らない」をモットーに人道外交に取り組む。



会場へのアクセス

<品川駅から> ※徒歩約 17 分

[JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線・東海道新幹線/京浜急行線]

高輪口より都営バス「目黒駅前」行き、「明治学院前」下車

<目黒駅から> ※徒歩約 20 分

[JR 山手線/東急目黒線/東京メトロ南北線/都営地下鉄三田線]

東口より都営バス「大井競馬場前」行き、「明治学院前」下車

<白金台駅から>

[東京メトロ南北線/都営地下鉄三田線]

2 番出口より徒歩約 7 分

<白金高輪駅から>

[東京メトロ南北線/都営地下鉄三田線]

1 番出口 (目黒駅側/エレベーター有) より徒歩約 7 分

<高輪台駅から>

[都営地下鉄浅草線] A2 番出口より徒歩約 7 分



会場：明治学院大学 白金キャンパス
〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC: The International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies)

各国の赤十字社・赤新月社の国際的な連合体であり、主に災害救護や保健事業などの総合調整を行っています。スイスのジュネーブに事務局と世界 60 カ所以上に代表部を置いている、独立した人道機関です。

赤新月社について

多くのイスラム教国では、「十字はキリスト教を連想させる」として、赤十字の代わりに「赤新月 (Red Crescent)」という名称とマークを使用し同じ目的のために活動しています。